

進路だより

広島県立西条特別支援学校

進路指導部 No. 1

平成27年10月30日

進路指導部では、7月21日に、教職員を対象に事業所見学を計画しました。社会福祉法人「つつじ」の支援システムの中で、生活介護・就労移行を行っている多機能型事業所「ウイング」と生活介護事業所「つつじ」を見学しました。障害者支援施設「ときわ台ホーム」も見学する予定でしたが、台風のため中止になり、またの機会に実施したいと思います。

それでは、見学の様子をお知らせします。

まず、理事長さんから「つつじ」の概要や歴史について説明を受けました。社会福祉法人「つつじ」は、昭和58年の「東広島福祉作業所」創設から始まりました。障害のある人たちが、地域の中でいきいきと生活できるよう、長い間この地域で福祉の中核を担ってこられた事と、創設当初、西条養護学校とのつながりが深かったことを知りました。



広くきれいな研修室で
理事長さんから説明を受けました。

次に2つのグループに分かれて、施設内を案内していただきました。利用者の実態に合わせて、いろいろな作業内容と支援が用意されていました。

社会福祉法人 つつじ 多機能型事業所「ウイング」



独立行政法人国立病院機構
東広島医療センターのすぐ近くです

「ウイング」は、社会福祉法人「つつじ」の知的障害者通所授産施設として開所しました。平成19年に、多機能型事業所として、就労移行支援事業と生活介護事業が始まりました。企業から受注された作業や焼き菓子づくりの作業を通して、社会とのつながりを深めておられます。



焼き菓子を作る作業では、車いすを使用している女性が真剣な眼差しで秤の目盛を読み、マドレーヌ一個一個の重さを計量されていました。

野菜処理の作業では、利用者個々のニーズに合わせて、作業内容の工夫や作業整備がなされていました。



社会福祉法人 つつじ 生活介護事業「つつじ」

生活介護事業所「つつじ」では、軽作業だけでなく、リラクゼーション・入浴提供・リハビリや余暇活動等のプログラムを提供されています。利用者は自分のペースでゆったりと作業されているようすが見られました。

牛乳パックを再利用して、名刺やはがきなどを作っておられました。みなさん、広々としたフロアで、それぞれの個性と適性を活かして作業されていました。利用者の一人が「好きな物を買いたいので、頑張っています。」と楽しそうに言っておられたのが印象的でした。



また、理学療法士が定期的に来られて、身体の動きや訓練について相談に乗ってもらえるそうです。身体にケアが必要な方たちにとって、とても良いシステムと思いました。



見学を通して、「ひとりひとりが力を発揮できる環境が地域にあり、その中で自分らしく生きていける」ことを願って、利用者とスタッフが、日々取り組んでおられるようすが伝わってきました。

○「進路ガイドブック」について

今回見学した施設がおこなっているサービスについて、簡単に説明をしました。サービスの種類や内容について詳しくお知りになりたい方は、PTA 総会(4月)でお配りした「進路ガイドブック」を参照してください。その中には、本校の進路指導の取り組みだけでなく、障害福祉サービスの内容や手続き、東広島市の事業所一覧なども掲載しています。わからないことや疑問に思ったことがありましたら、何なりと担任の方へお気軽にお問い合わせください。

○教育支援会議について

進路のことや現在の生活のことなど、いろいろなことで困ったり迷ったり悩んだりした時は、いつでも担任にご相談ください。相談内容を解決するために、必要な関係諸機関のメンバーに集まっていただき、「教育支援会議」を開催します。みんなで一緒に考える場を設定し、広い視野でさまざまな支援を模索していきます。一人で悩まず、支援者みんなでよい知恵を出し合いましょう。